

# 県北地区第1回研修会報告

## 1. 目標

- ① 保健医療福祉の専門職を目指す学生同士がそれぞれの専門性を超越し、「専門職連携教育 (Inter-professional Education) (※以下 IPE)」に取り組むことで現場実践において不可欠な多職種連携 (Inter-Professional Work) を理解する
- ② 他職種を知り、相互の専門性への理解を深める
- ③ 学生のコミュニケーション交流の場として仲間づくりができる

2. 日時 2021年10月9日(土) 9時30分から12時30分

3. 場所 各学校 ホスト校：福島学院大学

## 4. 内容

時間	内容
9:15~	Zoom チェックイン開始
9:30~9:40	オリエンテーション 開催にあたっての挨拶 県北地区担当 福島看護専門学校 校長 渡邊艶子
9:40~10:10 (各校(職種)最大5分) ※Zoomにて各校3グループに分かれる(ただし、学院大短期大学部食物栄養科は1グループにのみ入る)	チームビルド(共有と創造) 「各専門職の専門性を他職種に説明する(Ns.は重複するが、学校ごとに説明)」 ※それぞれの職種の役割機能を理解、把握し、お互いを尊重したチームビルディングを目指す。今回はZoom開催により1チームあたり的人数が多いため、自己紹介は行わない。
10:10~11:05 ※時間に関わらず上記のチームビルドが終了したグループから移行する	ケース検討① 職種内連携(問題解決への導入) ※学校ごとに、以下のことについて討議する(この間、Zoom音声OFF) <ul style="list-style-type: none"><li>・本ケースのアセスメントとニーズ把握</li><li>・各々の専門職の視点から見た本ケースへの支援の大まかな方向性(学生には事前に事例を配布し、各自内容を確認しておくことを必須とする)</li><li>・他校、多職種へ簡易に説明できるようまとめておく</li></ul>
11:05~11:15	休憩

11 : 15～12 : 15	<p>ケース検討② 他職種連携（問題解決のための連携開始）</p> <p>※グループごとに他の職種のアセスメントの視点やニーズ把握の視点，支援の方向性を共有すると同時に，互いの不明点を質問し合い，互いの専門性の対立や葛藤，尊重のあり方について知る</p>
12 : 15～12 : 25	<p>本日の総括と次回研修の説明</p> <p>令和3年度第2回福島県医療福祉関連教育施設協議会研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年12月4日土曜日 9時30分 から12時30分</li> <li>・Zoom開催</li> <li>・IPEの成果として今回の検討内容を基に，グループ内で退院計画（案）作成へ取り組むことで他職種連携から多職種連携へと昇華させていく（チームとしての意思決定，倫理調整，各種対立などへの気付き）</li> </ul>
12 : 25～12 : 30	<p>閉会挨拶</p> <p>終了後各校アンケート記入</p>

## 県北地区研修会 参加校および人数

NO	学 校 名	学 科 名	1 回 目 参加人数	2 回 目 参加人数
1	相馬看護専門学校	看護学科	3 9	3 9
2	相馬看護専門学校 教員	看護学科	3	3
3	福島県立総合衛生学院	歯科衛生学科	8	8
4	福島県立総合衛生学院 教員	歯科衛生学科	1	1
5	大原看護専門学校	看護学科	3 3	3 3
6	大原看護専門学校 教員	看護学科	5	5
7	福島看護専門学校	看護学科	4 4	4 4
8	福島看護専門学校 教員	看護学科	4	4
9	福島学院大学	心理学研究科臨床心理学 専攻 (公認)	2	2
1 0	福島学院大学	福祉心理学科 (社会福祉士課程)	1 7	2 5
1 1	福島学院大学	福祉心理学科 (精神保健福祉士課程)	6	6
1 2	福島学院大学	福祉心理学科 (社会福祉士・精神保健 福祉士課程)	2	2
1 3	福島学院短期大学	食物栄養学科	6	6
1 4	福島学院大学 教員	福祉心理学科	3	3